

## ふれあいですすめる私達の婦人部活動

小友漁協婦人部

齋藤多美子

### 1、地域と漁業の概況

私達の小友漁協は、岩手の湘南といわれている冬も比較的暖かい陸前高田市に位置し組合員は189名です。

浜の仕事が一段落しますと田畑の仕事等をするという半農半漁の地域です。

私達が通称「表浜」といっております門之浜湾側と「浦浜」といっております広田湾と漁場が2つに別れており、若布、昆布、カキ、ホタテの養殖、小型定置、漁船漁業等を営んでおり、平成6年度販売事業の取扱高は約5億4千4百万ぐらいという県内では小規模な漁協です。

### 2、婦人部の組織と運営

小友漁協婦人部は、昭和42年に組織されました比較的新しい婦人部です。現在の部員数は175名で、役員は部長1名、副部長3名、監事3名の7名で、他に10名の部落連絡員という構成になっております。その部落連絡員の方々を通して毎月の貯金、日用品のとりまとめ、わかしお石けんの販売等を行っております。活動資金は、組合の生活改善費を主な運営費とし、その他日用品等の販売手数料等をあてております。

### 3、活動課題選定の動機

私達 陸前高田市及び小友町としての地域の婦人部活動は、地域婦人会、農協婦人部 更生保護婦人会、商工婦人部、母子福祉協会、食生活改善推進協議会、交通安全母の会 ドライバークラブ、防火クラブ、それに我が漁協婦人部等、それぞれの団体として別々の味を生かし熱心に活動を続けており、私達漁協婦人部の一人一人も各団体のそれぞれに籍を置いているという状況です。

私は、平成4年度より部長という大役をおおせつかり、小友漁協婦人部全体として何が出来るか。引き受けた以上は何かやらなければならないと考え、それならば浜の母ちゃんの先頭に立って、父ちゃん達の“小さなささえ”になれないだろうかと考えました

しかし 私達漁協婦人部のかあちゃん達は、一年を通じ、2月に始まるわかめ養殖の作業。10月、11月、12月、1月と厳しい寒さの時期のカキ養殖作業等、猫の手も借りたいほどの忙しい状況にある中で、地域活動に参加するということのむずかしさがいつも悩みのたねでした。どうすればみんなが心よく活動に参加してくれるかを真剣に考えました。いろいろな行事についても、出来るだけ多くの方々が集りやすいように、各地区毎の3ヶ所で開催することにしました。

それでも忙しかったりして、どうしても都合がつかず参加出来ない方も多くいる筈です

ならば 参加出来ないかあちゃんも、どんな行事があったのか——と作業の合間 ちょっと一服の時間に、父ちゃんと一緒に眺めてくれるのではないかと考え、おとも『浜のかあちゃん』だよりを発行し、各部員全員に配布することにしました。

#### 4. 実践活動の状況と成果

私達が発行した おとも『浜のかあちゃん』だよりを、みなさんに見ていただきながら、平成6年度に活動した行事について紹介してみたいと思います。

##### (1)、海を汚さない活動(『浜のかあちゃん』NO. 1)

家庭から流れる雑排水、合成洗剤による海の汚染を考えると、かねてからの念願だった廃油を使った「プリン石けんづくり」に取り組みました。

そこでまず、父ちゃんの作業着の油よごれ、子供の運動靴、靴下のよごれ、又ガスレンジ周りのよごれ、何といても食器洗いに大変いいという 何んにでも使えるプリン石けんを皆なさんに使ってもらいたいと考えました。

講師は、部長がいつに引受け大奮闘。出来栄も上々。石けんづくりの作業の合間を利用し交流会となり、78名もの参加のもとに、いいふれあいの機会となったことも事実です。

##### (2)、魚食普及の活動(『浜のかあちゃん』NO. 2)

魚を利用した調理加工講習会が、大船渡地方振興局水産部が主体となり行われたのですが、その時勉強した「ホヤ料理」を広く普及したいものと考え、ホヤ料理講習会を計画しました。

時期は、かき作業の始まる前ということで、8月と9月、さらにカキ作業のない地区を12月にというように3地区に分けて開催、70名の参加を得てこれもまた大いに盛り上がり とても有意義な講習会となりました。

##### (3)、お正月用生け花講習会(『浜のかあちゃん』NO. 4)

12月に入り、寒さも厳しくなって 海の作業も何かと大変な時期、これを乗り越えるためにも、正月ぐらい心のやすらぎを！とお正月用生け花をいける講習会を開きました。

いつも早朝から 寒さの厳しい中働きどおしのお父さんも、きれいにいけられたお花を眺めていやな顔をする人はいないはずです。少しでも気持がなごむことをねらった活動の一つでした。きっと 暖かい気分でお正月を迎えたことと信じます。

##### (4)、「漁具に活ける」展示会(『浜のかあちゃん』NO. 5・NO. 8)

平成6年度漁村女性はつらっライフ事業の一つとして「作業改善事業講習会」が開催された際、講師の先生のお話の中で「農のいけ花」として農具に野菜をいけ、作ったものに感謝することが紹介されました。その時、漁協婦人部のお母さん達も漁具に花をいけて見ても楽しいのではと教えていただき、それにヒントを得て昨年の暮れに、ちょっと趣向を変え「漁具に活ける」と題し、その辺のどこにでもある漁具を使い、それに小花をちょっぴりあしらった生け花を展示してみました。

なにも立派な花でなくても 手軽に楽しめることを知り、大変喜ばれました。

このように『浜のかあちゃん』だよりを発行したことで、部員のみなさんに 婦人部活動の情報を提供することができ、ふれあいと 意志疎通の面でも大きな成果

だったと思います。

## 5、波及効果

今までの婦人部といえば、上部から指示された行事を消化するのが精一杯のおまかせ的などころがあったことも事実です。

しかし、『浜のかあちゃん』だよりを手にした時、活動に参加した人は「あんなこともあったね！」とあらためて感動した様子を思い浮べる。参加しなかった人は「こんなこともやっているのか！」と何んとなく自分も行動に加わったような気分になれるのではないのでしょうか。

ある時、プリン石けんのおすそ分けに訪ねた時、「あっ！この間『浜のかあちゃん』読んだよ！大変だろうけれど 頑張ってるね」と返事が返って来ました。

やはり どんなささやかな活動でも ひとりひとりが 小友漁協婦人部の活動としてしっかりと把握してくれているという自信が大きな活動の原動力になりました。

## 6、今後の活動計画と問題点

他の漁協婦人部から見れば、ほんとうにささやかな活動であるかも知れません。

ひとつは、ふれあいを目的として 各三地区を回る ということ。ふたつめは、どんなことでも つくった！ 良かった！ それで終りではなく 良いことは続けていくべきだということ。大きな課題です。

おとも『浜のかあちゃん』だよりは、NO8まで発行してきましたが、これからも、何か活動あるごとに、また わかめ作業のおやつ作り方等を掲載したりして 参考になればと、仲々集れない忙しいみなさんへのふれあいの『浜のかあちゃん』だよりを続けていきたいと、希望をふくらませながら……小友漁協婦人部の活動報告といたします

# 地域の概況

岩手県

盛岡市

陸前高田市

広田湾

小友町

小友漁協

門之浜湾





No. 1  
H. 6. 8. 5  
川友協婦部

合成洗剤追放  
使わない!!  
贈らない!!

!!やれば出来る!!  
プリン石けんづくり...

矢の浦・三日市・只出の3ヶ所 78名参加

▼かねてからの念願だった 广油をつめたプリン石けんづくり  
▼が 去る7月22日(矢の浦・瀬沢地区)7月28日(三日市・両入  
▼替・塩谷地区)7月31日(只出地区)と3ヶ所を会場として盛  
▼会に行われました

平成6年度総会の際 年間行事  
の一つとして、プリン石けん講習  
魚食普及料理講習、生花講習を  
計画。さっそく事務局と相談の  
上日程を決めスタートしました。  
矢の浦瀬沢地区をサ1回目とし  
矢の浦公民館で21名参加。サ2  
回目は三日市両替・塩谷小屋敷地  
区を三日市公民館では名参加。  
3回目は只出地区を只出公民館

で42名参加のもとに行ないました  
講師は斎藤部長が一手に引受け  
奮闘しました。

石けんづくりの作業の合間を利  
用し、お茶あり漬物ありの交流  
手踊りおめでた音頭練習をす  
る等して時間を有効に使ってと  
っても有意義な講習会でした。  
次回の料理講習にもいっぱい参  
加して下さい。

- かんまし方にもよるんだネ... おめさん仲々  
うまいなあ... 他さむかんましさ行って来たら
- おらのほうが早くトロミが出たよ... かん  
まし方がいいのがなあ...
- 色が白くなって来たよ... ウマそ  
うたなあ...
- 暑いから仲々冷めないネ...  
ウチワでおおぐが、水を入れるが
- 冷めるうち昼寝でもしてがら  
かんますかせなあ...
- なんだかアワが出て来て固まらないよ  
—分離だ!!— 暖かためてから又か  
んませは、大丈夫だよ
- 今度若い者がかんませや!!

講師より...

- おがけさまで 立派に出来たではあ...
- 食器洗いにつかたれは、流しのあた  
りのものも立派になったではあ...
- 踊りっこも覚えたしよかつこよー

• 食油は、1~2回で終りにしな  
いで出来るだけ使いきるこ  
と。又、簡単に捨てないで下さい。

• せかく作った石けんです、必ず使っ  
て下さい。洗濯に、食器洗いに、  
どんどんきれいになりますよ

• 次回は料理講習の番です!

おとも



NO. 2

H6. 9.26

川友漁協婦部

わかしおろけん  
使ってまよふか!!  
合成洗剤遠放



# ホヤを食べられましたか?

8月1日矢の浦地区・9月5日三日市地区において料理講習会を開催しました。なお只出地区は11月頃に予定しております。

大船渡地方振興局水産部が主体となり、加工実地活動促進事業として、平成4年6月と平成5年3月までの2回にわたり魚を利用した調理加工講習会が行われました。その際に教えられた日ホヤ料理が印象的だったので、皆さんにも知ってもらいたい。ホヤは美味しく食べてもらおうと考え、活動の一つとしての料理講習となった訳です。矢の浦・獺沢地区2名・三日市・両

下さい。

○ホヤの炊き込みご飯

<材料>

- ホヤ... 6ヶ位
- 米... 1升
- 帆立貝... 5ヶ位
- しょう油... 15cc
- 油揚げ... 2枚
- しめじ... 2パック
- 人参... (小)1本
- 酒
- 砂糖
- シマ

<作り方>

- 下ごしらえしたホヤを金網で片面焼く(金串にさしてもいい)
- 油揚げは熱湯をかけ油抜きし小口切り。帆立貝柱はほぐす
- 人参は千切り。しめじも小口にほぐしておく
- 洗ったお米と一諸に全部入れて炊き込む

替・塩谷・小屋敷地区2名の参加を得て大盛会でした。尚、参加出来なかった方の為に調理方法を簡単に紹介しますので是非食べてみて

○ホヤのお吸い物

<材料>

- ホヤ... (1人分) 1/2ヶ位
- しめじ... 長ねぎ
- みりん(酒)・しょう油・塩

<作り方>

- 下ごしらえしたホヤの水気を切り金串もしくは金網でさっと焼き摘みに切っておく
- 長ねぎは白い部分を針せんじ切り木にさらしておく
- しめじは小房にわけゆでる
- 出し汁に調味料を入れ吸地を作る
- 器にホヤ、しめじ、針ねぎを入れ熱い吸地を入れる

○ホヤのフライ

<材料>

- ホヤ... (1人分) 1ヶ位
- 小麦粉・卵・パン粉
- キャベツ・レモン・トマト
- 塩・胡椒

<作り方>

- 下ごしらえしたホヤの水分を布巾でとる
- ホヤの端に切り目を入れ塩・こしょうをふっておく
- 小麦粉、とき卵、パン粉の順につけ、160℃の油で揚げける
- キャベツの千切り、トマト、レモンをそえ盛りつける

○ワカメの天ぷら

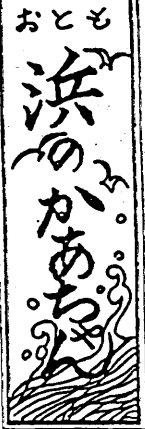
<材料>

- 塩ワカメ・小麦粉・かぼちゃ
- 塩・砂糖・うさぎ

<作り方>

- 塩ワカメは水洗いし水切りし、5~6cm位に切る
- 小麦粉にまぶしパラパラにしておく
- 小麦粉を冷水でゆるとがきませ、ワカメを入れ揚げける
- 半分にかぼちゃのすりおろしたものを入れ砂糖、少量を入れ、ワカメをからませ油で揚げける



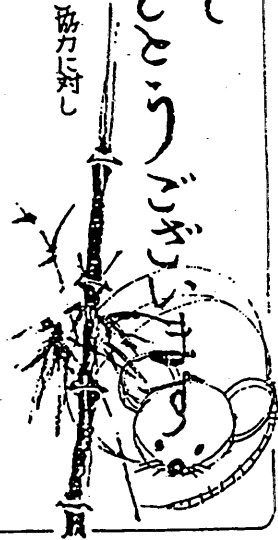


NO. 8  
H9.1.8  
川友漁協 郵

海を穿る運動の  
合成洗剤 追放  
贈らない!! 使わない!!

# 明けまして おめでとー

昨年中の婦人部活動への協力に対し  
感謝いたします。  
平成8年も又、よろしくお願い申し上げます。



## 漁具に活ける

活動の一つでもありました。「正月用の  
活ける花」講習会が、昨年暮れ、12月21日、  
川友町ふるさとセンターにおいて開催され  
ました。

甚れもおしせまり、大変忙しい時期にも  
関わらず、16名の参加をいたしました。にぎ  
やかに行なわれました。  
昨年同様、みごとに行われた。豪華なお  
花で、ご褒美し、なごやかなお正月となっ  
たひとときです。

又、この講習会と合わせて、一つ変わった  
計画を立てまして、「漁具に活ける花」と題  
し、色々な漁具を利用し、これに小花を

おしつたお花の展示をして、会場の片すみ  
をにぎわしました。

参加出来なかった方の為に、次に絵で紹介  
しますので、みむさん、ちまこさんにみて  
はいかがいでしょの。

ごにでもころ  
がっている漁具  
に、ちまこ  
花きき  
まだけ  
のオリ  
シナル  
です。

